



Kusa: (No. 074)  
Tabi-suzuri Vol. 3

~ 13  
3822



福 壹 福



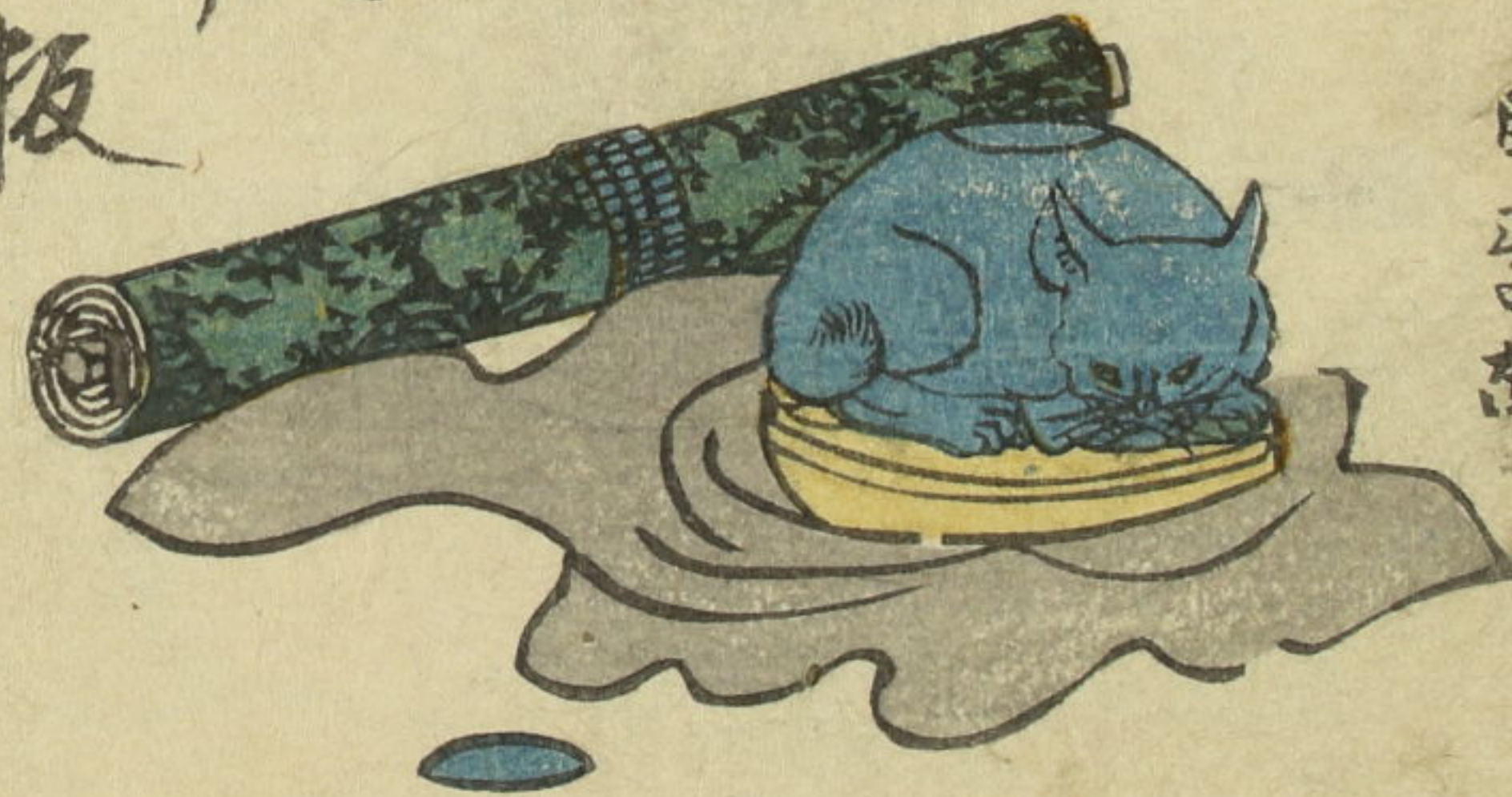
3822

旅 硯

富士見西行

應 賀 化  
豊 國 画

成之壽  
新 版  
川 口 板



目 子 堂



尺八指南  
 旋行庵  
 柳枝

摂津國  
 江口の黒の掾君  
 象浮大夫

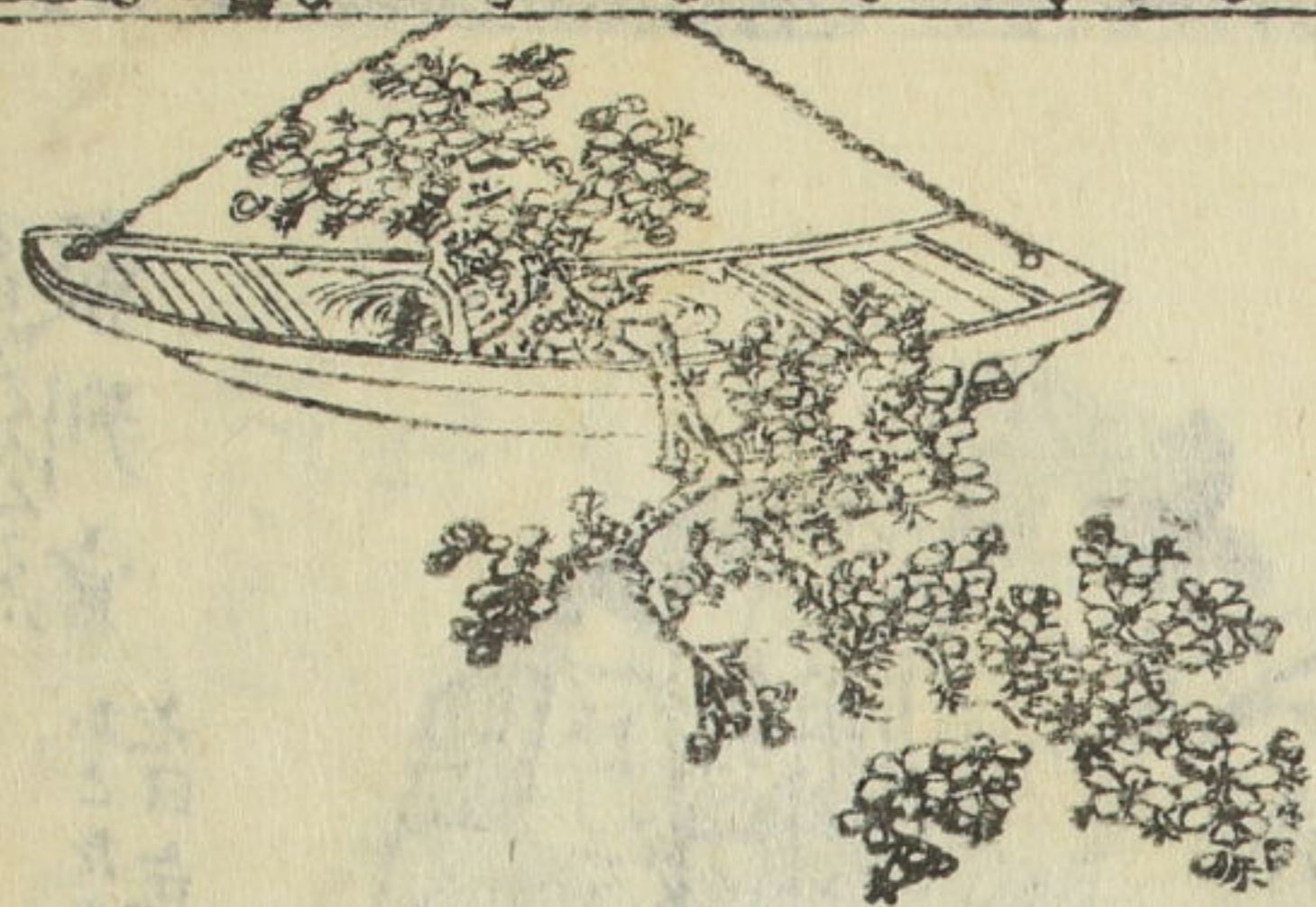


橘中樂不

佐藤憲清  
 入道  
 西行法師

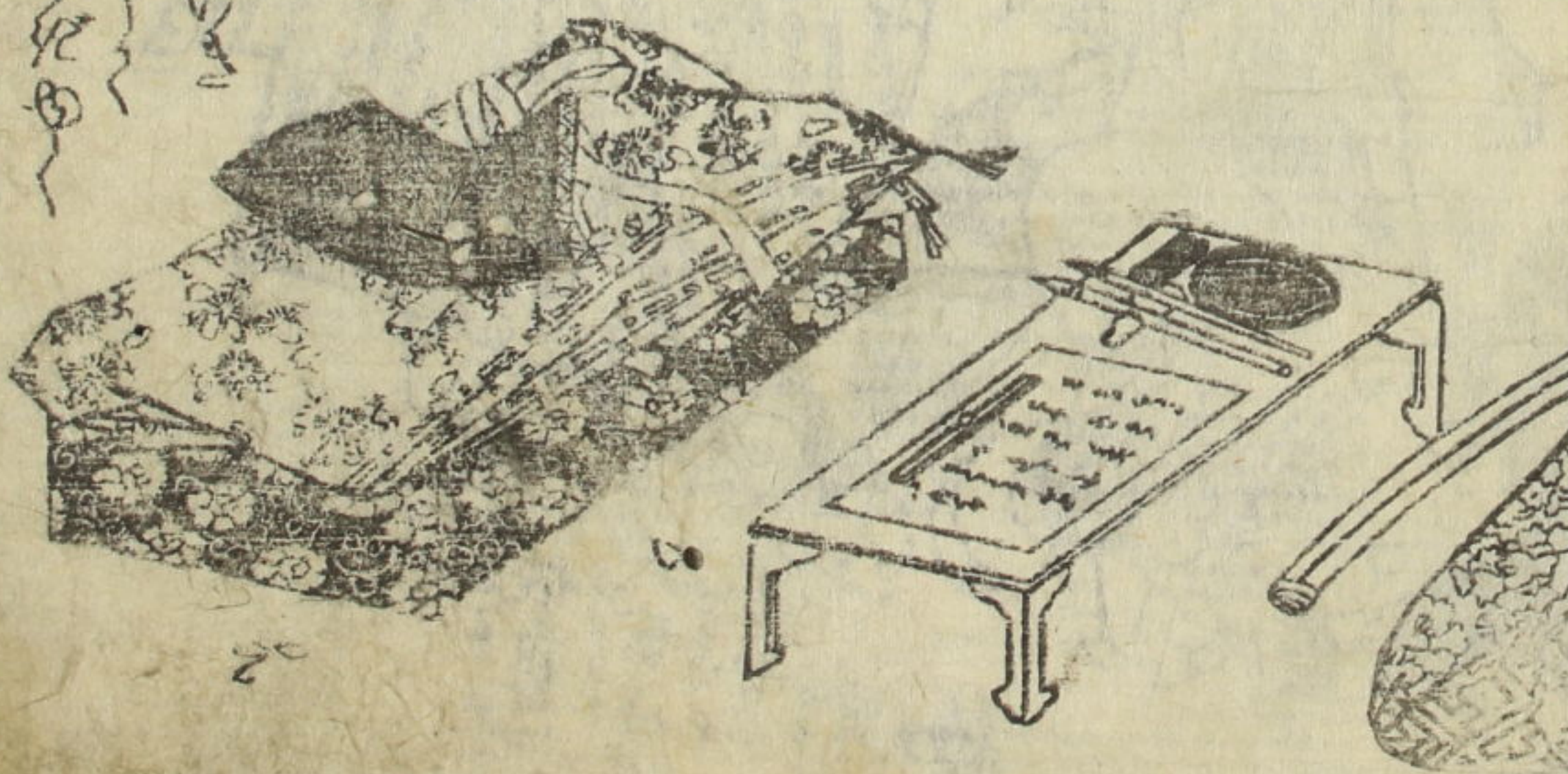
鳥羽院北面の侍  
佐藤兵衛憲清

鳥羽院の北面の侍佐藤兵衛の清を  
主上ひそふまはしの  
ゆふめまほ三種の神宝  
内侍所の御鏡と宝劔ハ  
安徳天皇西海へもらひ  
たすひーくども神璽の  
神宝ハひそふかくーく  
平家ハこころごと



あんなにえんたをまあごうて  
兵衛位より朝へ手ごうて  
木曾美仲あゝハ平家神璽  
平家小ぢりあゝあゝ三のうだうだ  
兵火の為小亡びんと仰あゝの清倫言を

家小ぢりあゝひそふ  
かゝるゝと娘写像か  
和哥小思ひを  
俊小く朝が手三四五  
旅のそゝあ所まらさう





象  
浮  
山吹大書  
艶の都



散判官  
高

佐藤紅衛  
寫  
繪



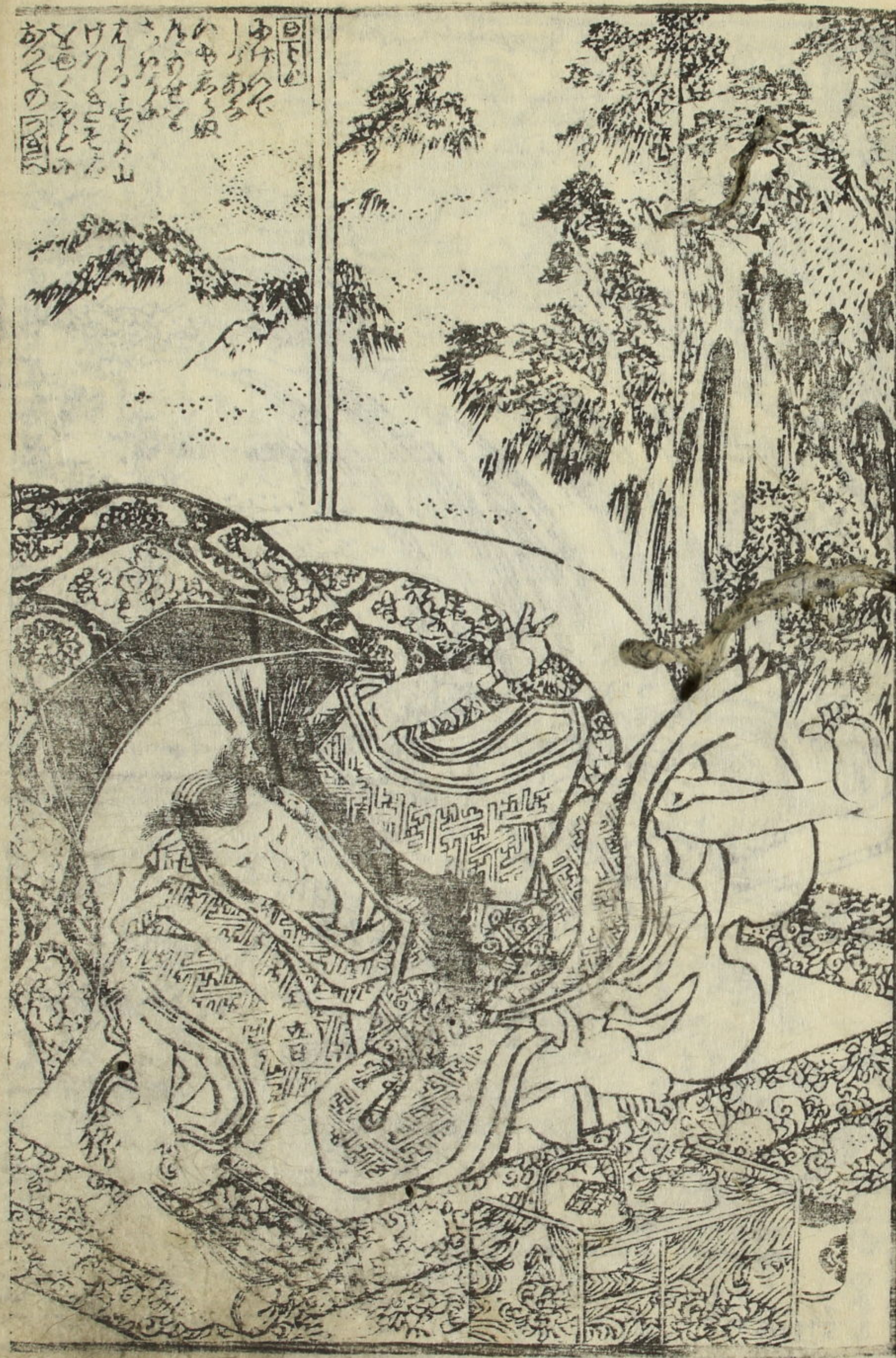








〇下  
 〇上  
 〇中  
 〇左  
 〇右  
 〇前  
 〇後  
 〇内  
 〇外  
 〇上  
 〇下  
 〇中  
 〇左  
 〇右  
 〇前  
 〇後  
 〇内  
 〇外



〇上  
 〇下  
 〇中  
 〇左  
 〇右  
 〇前  
 〇後  
 〇内  
 〇外  
 〇上  
 〇下  
 〇中  
 〇左  
 〇右  
 〇前  
 〇後  
 〇内  
 〇外



應賀作豊國画



祖元 白雪

丸山か岩

窈見せん巻の

龜の甲せん巻の

うせてせん巻の

过うらねん巻の

木の葉せん巻の

あゝ海

ちく乃粉

ちくの巻業

かゝ松せん巻の

隅田海んぢう

汐見まんぢう

唐海んぢう

五色 まゝ巻

五色木の葉

みまねぢう

源氏毛巻

おそく揚坂本町

福川堂 川口



万亭應如作



ふたつとくあつてあせまら  
すてあきうふのぞき  
かき  
ふたつとくあつてあせまら  
すてあきうふのぞき  
かき  
ふたつとくあつてあせまら  
すてあきうふのぞき  
かき



あつてあせまら  
すてあきうふのぞき  
かき

恋 賀 後  
豊 國 画

西 見 崎

日本橋坂本町  
川口宇兵衛版

戌 乃  
子 乃





川へおちてしまふ  
川へおちてしまふ  
川へおちてしまふ

さういふと  
さういふと  
さういふと

さういふと  
さういふと  
さういふと



川へおちてしまふ  
川へおちてしまふ  
川へおちてしまふ

さういふと  
さういふと  
さういふと

さういふと  
さういふと  
さういふと

ついで

ついでに... 鳥の鳴き声... 村の入口...



あつと... 村の入口...

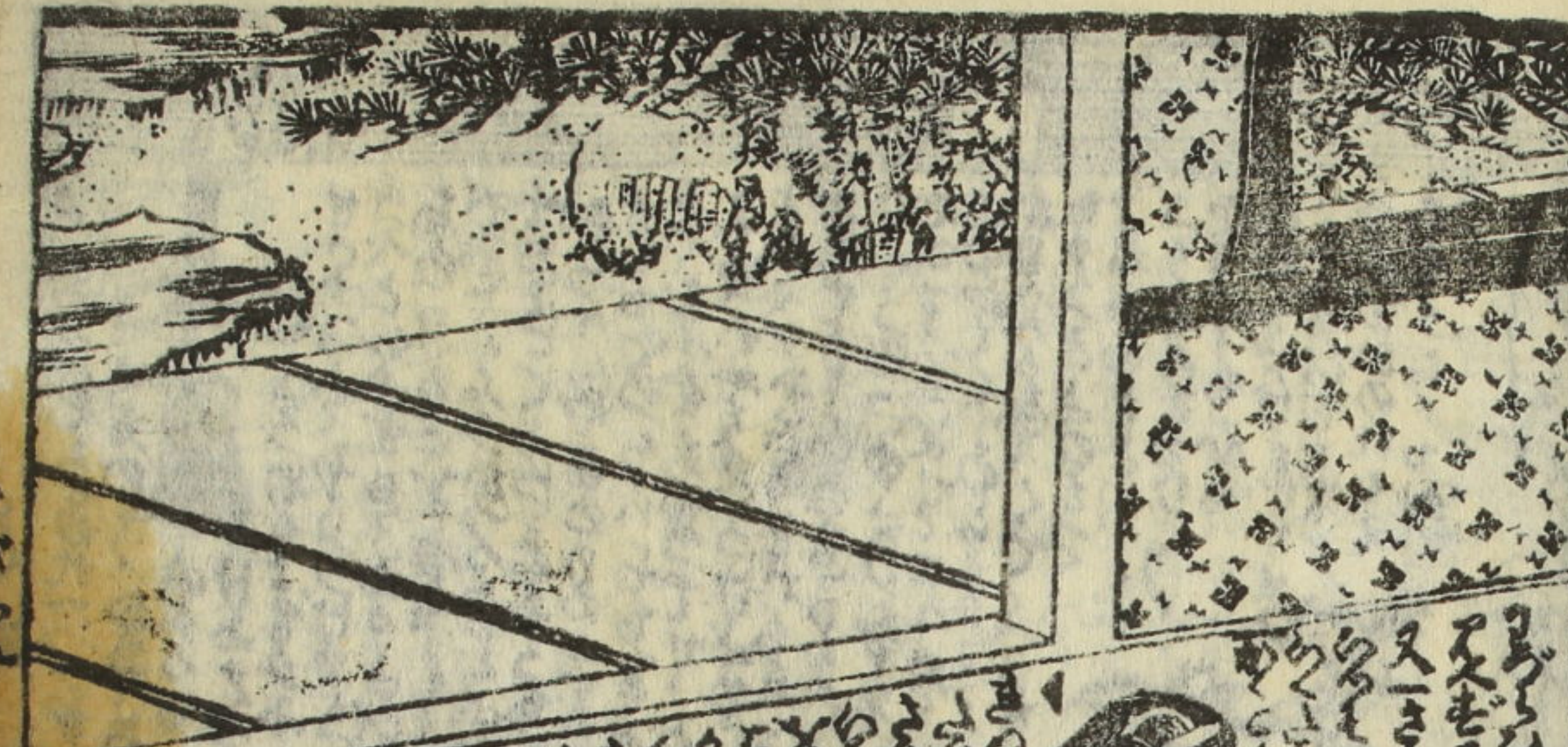
ついでに... 鳥の鳴き声... 村の入口...



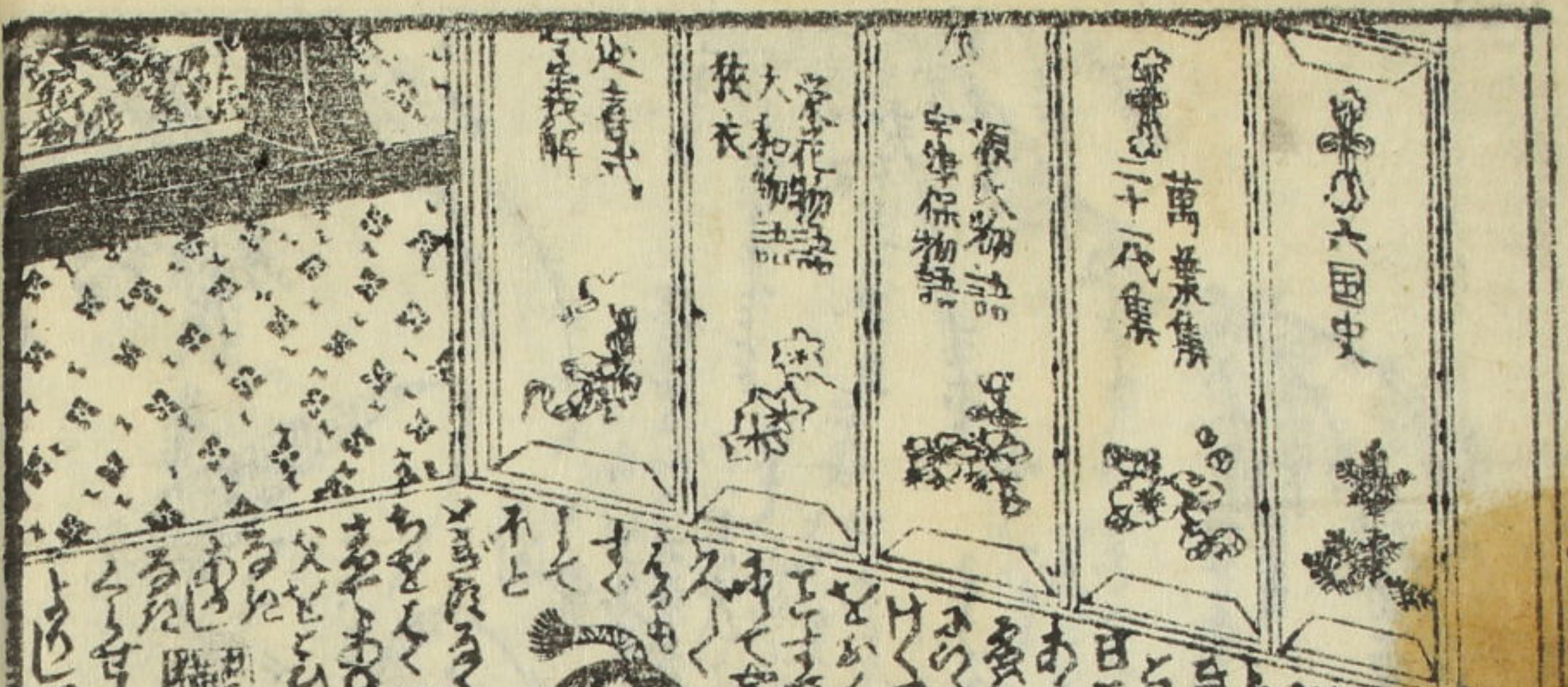
あつと... 村の入口...







Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or commentary related to the illustration.



Vertical columns of handwritten Japanese text, continuing the narrative or commentary.

Vertical text on the right edge of the page, possibly a page number or title.

萬葉集

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語











怪談春雛鳥  
 五編 力亭應賀作  
 六編 陽齋豊國画



應賀作 豊國画  
 此の日は人小まきゆられるにの  
 さへおはれて又おとあきこころを  
 人あはれとておはつてくらしを  
 あつるあはれとてくらしを

# 怪談春雛鳥

五編 六編

力亭應賀作 陽齋豊國画

# 都鳥花魁

初編二編 編四編

力亭應賀作 陽齋豊國画

# 昔語戀仇波

初編二編 三編四編

力亭應賀作 陽齋豊國画

# 旅硯富士見西行

全六冊

力亭應賀作 陽齋豊國画

# 奥御殿御祝儀雙六

奥御殿の有格女中の暇容毒、  
佳あわい女中方を遊ばぬ双六

# 東都地本錦繪板元

海賊橋坂本町  
福川堂 川口守兵衛





一陽齋豊國画

福川堂板

下







うらやまをいふやうに  
小ぢりなうらやまをいふやうに  
まうのうらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
あうらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに

まうのうらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに

うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに



うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに

うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに

うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに  
うらやまをいふやうに

うちおひき金の  
上まのりうあは  
てばいさきこそ  
又やりのおまを  
なすゆいれで  
ごさせうあ  
あゆきけそれ  
ふとふあゆ  
にほいさか  
ぐりあつのにん  
とそせうけて  
うさ  
あとも  
またる女  
おつれそあ  
といまあ  
さうさ  
くわうぬ  
ふごのりとも  
らしいそのうや  
あちとて  
あまあせと  
ふんわりか  
さうりて  
うへへつれつけ  
かひこのふりた  
あけへんらり  
あれと二人りる  
まいつま



あておてら  
おつれそあ  
のうさき  
あちとて  
あまあせ  
ふんわりか  
さうりて  
うへへつれつ  
かひこのふり  
あけへんらり  
あれと二人り  
まいつま



あ

あ

あ

あ

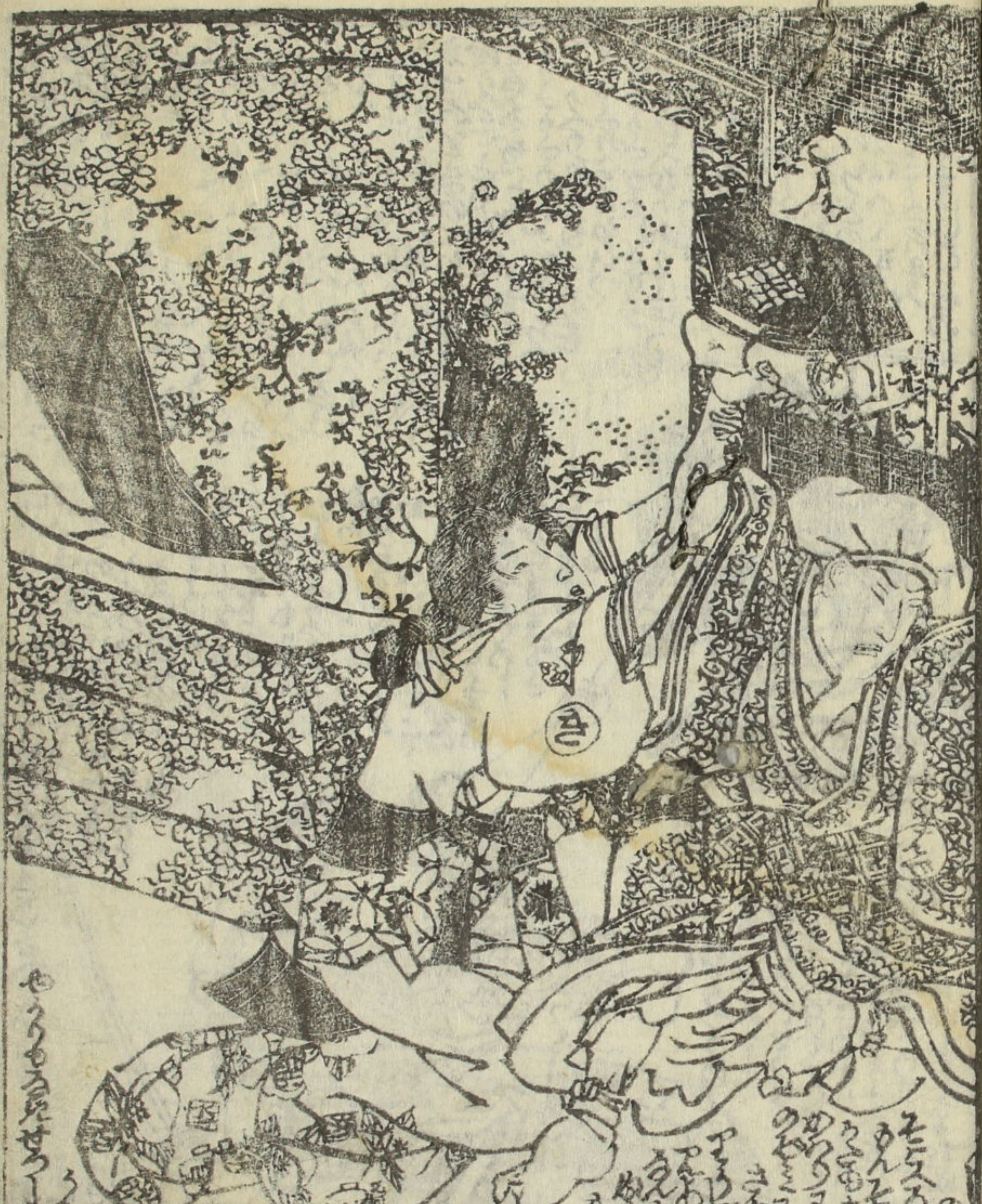
あ

あ

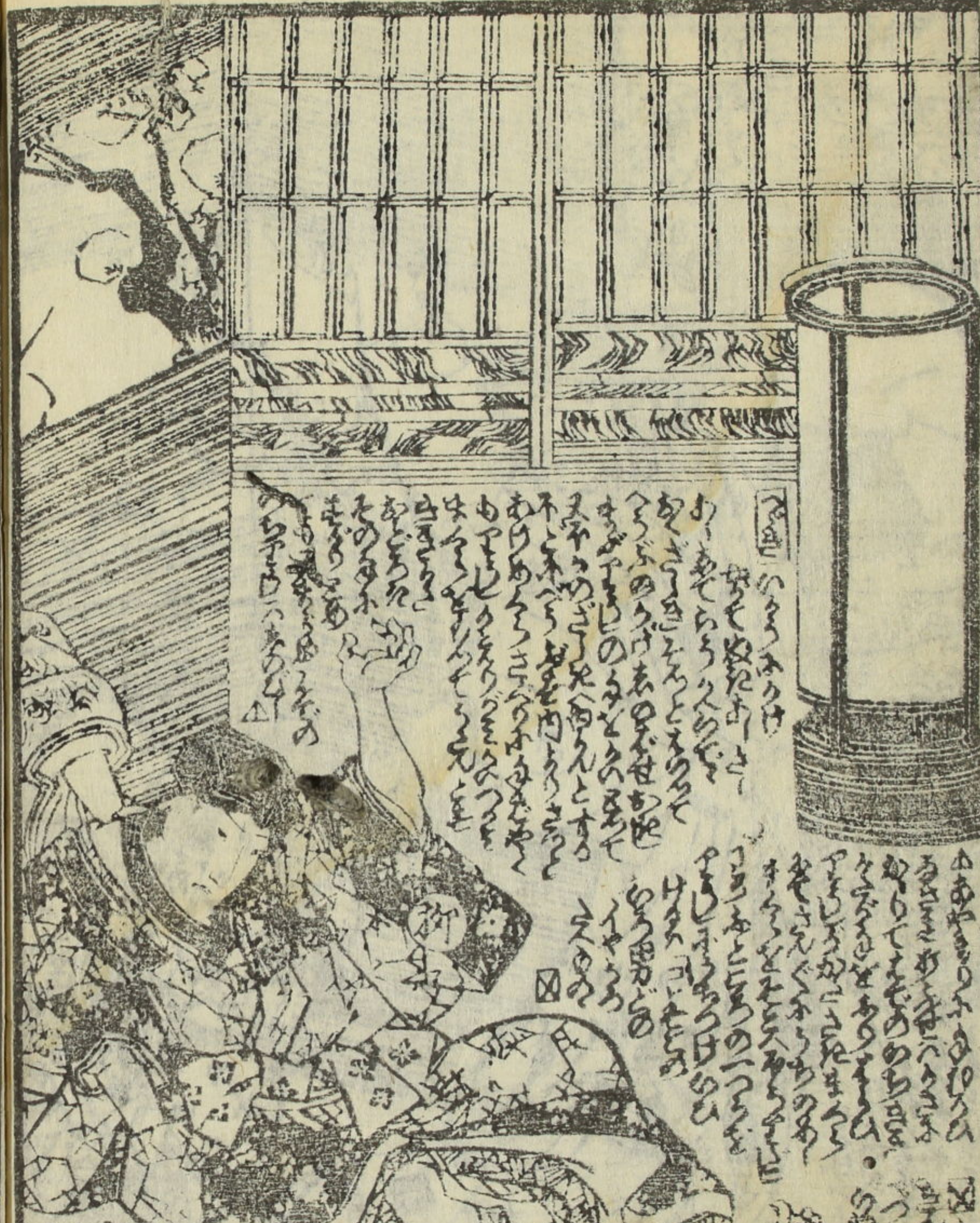








この物語は、  
 大坂の役の事  
 ...  
 ...  
 ...



この物語は、  
 ...  
 ...  
 ...

...

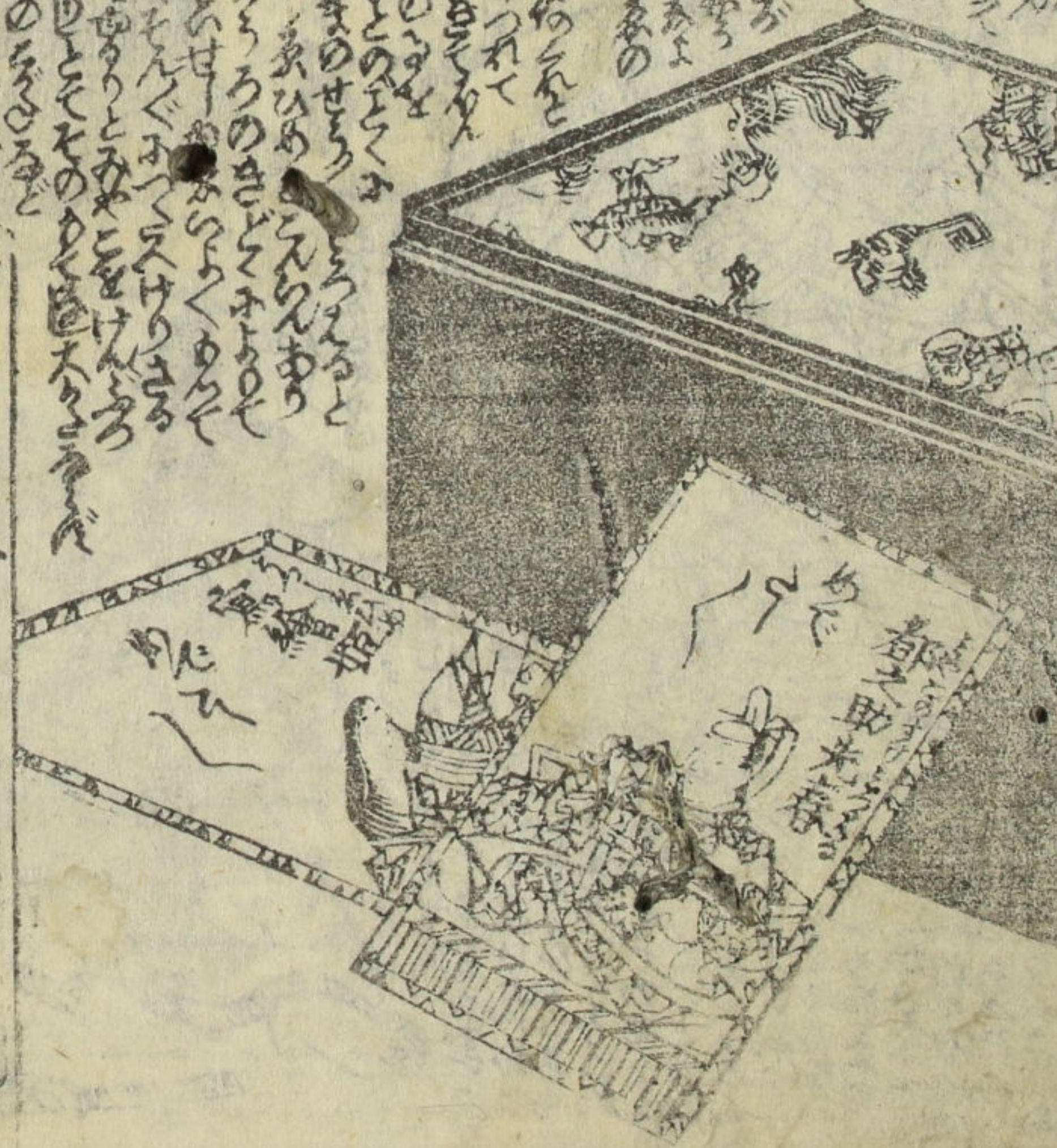








万亭應賀作



一陽齋豊國画

昔のやうに... 万亭應賀作の... 一陽齋豊國画の... 昔のやうに... 万亭應賀作の... 一陽齋豊國画の...

怪談春雛鳥

五編 六編

力亭應賀作 陽齋豊國画

都鳥花魁

初編 二編 三編 四編

力亭應賀作 陽齋豊國画

昔語戀仇波

初編 二編 三編 四編

力亭應賀作 陽齋豊國画

旅硯富士見西行

全六冊

力亭應賀作 一陽齋豊國画

奥御殿御祝儀雙六

奥御殿の有格女中の形容書、  
信小あゝい女中方をゆるるに双六

東都地本錦繪板元

海賊橋坂本町  
福川堂川口宇兵衛

